

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成24年5月15日現在

機関番号：3 2 6 3 2  
 研究種目：基盤研究 (C)  
 研究期間：2 0 0 9～ 2 0 1 1  
 課題番号：2 1 5 2 0 2 0 3  
 研究課題名（和文）歌舞伎の画証的研究—浮世絵データベースを活用して—

研究課題名（英文）The study of the kabuki prints that uses data base

## 研究代表者

武藤 純子 (MUTO JUNKO)

清泉女子大学・文学部・講師

研究者番号：5 0 4 2 4 3 0 4

研究成果の概要（和文）：歌舞伎を浮世絵中心に研究し、属性情報を分析した結果、類型的表現と類型的趣向を見出した。データベースをホームページ上に公開。

研究成果の概要（英文）：I registered the result of investigating the ukiyoe that made the kabuki a theme in the data base. I discovered the similarity of the expression. Everyone can access homepage.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2009年度	1,400,000	420,000	1,820,000
2010年度	900,000	270,000	1,170,000
2011年度	1,000,000	300,000	1,300,000
年度			
総計	3,300,000	990,000	4,290,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目 文学・日本文学

キーワード：近世文学・歌舞伎・浮世絵・データベース

## 1. 研究開始当初の背景

従来の主なる歌舞伎研究は、人文学の分野の文字資料中心、あるいは演劇の分野の演技論中心であった。昨今、浮世絵などの絵画資料を取り入れた研究は活発になりつつあるが、文学・演劇・芸術などを総合的・学際的に取り入れた研究およびその公開は十分とはいえない。

## 2. 研究の目的

歌舞伎を写す絵画資料、特に役者絵データを収集・集積すること、それらの情報を格納したデータベースを活用して様々な属性情報を整理・検討し新たな視点を指摘すること、さらにデータベースをWEB上に公開することが、本研究の目的である。

## 3. 研究の方法

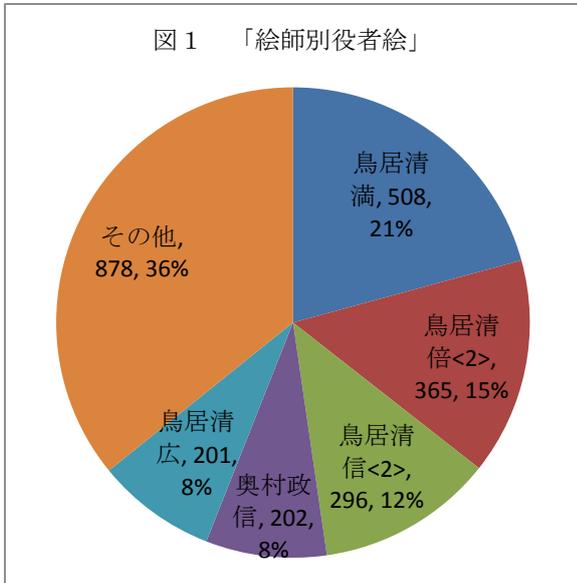
図書、カタログ、WEB等で間接的に調査収集するとともに、長期休暇を利用して、国内外の美術館、博物館、図書館、個人コレクターの所蔵作品を調査研究した。

## 4. 研究成果

多くの画像データを集積することによって、さまざまな情報を整理し、歌舞伎の画証的研究に新たな解釈を加えることができた。その成果は論文やカタログ執筆に織り込むことができたほか、ホノルル美術館、ケンブリッジ大学図書館、大英博物館、ミネアポリス美術館、水田美術館などのデータ手直しにも協力することができた。また研究者のホームページ上に「初期浮世絵検索システム」を公開した。以上が本研究の主な成果である。以下、個別的な集計データを示す。なお円グラフ中の数字は、図版の数とパーセンテージを示している。

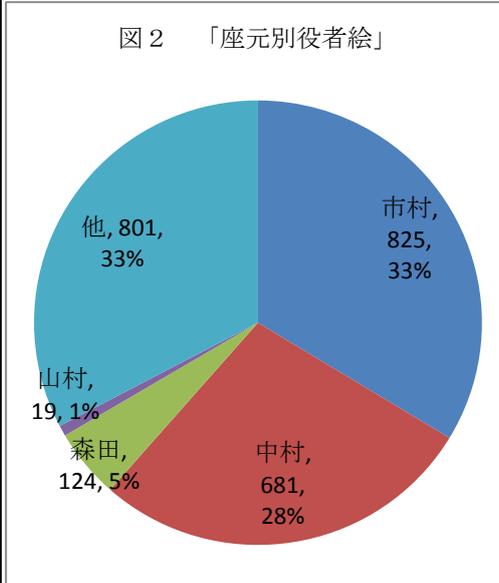
(1) 絵師別役者絵

錦絵以前の役者絵2450図を絵師別に分類してみると、第一位 鳥居清満、第二位 鳥居清倍<2>、第三位 鳥居清信<2>、第四位 奥村政信、第五位 鳥居清広となる。鳥居派が歌舞伎に関する役者絵を多く手掛けていたことは予想通りであったが、奥村政信が多いのは、本研究によって得た成果といえよう。図1は「絵師別役者絵」を可視化した円グラフである。



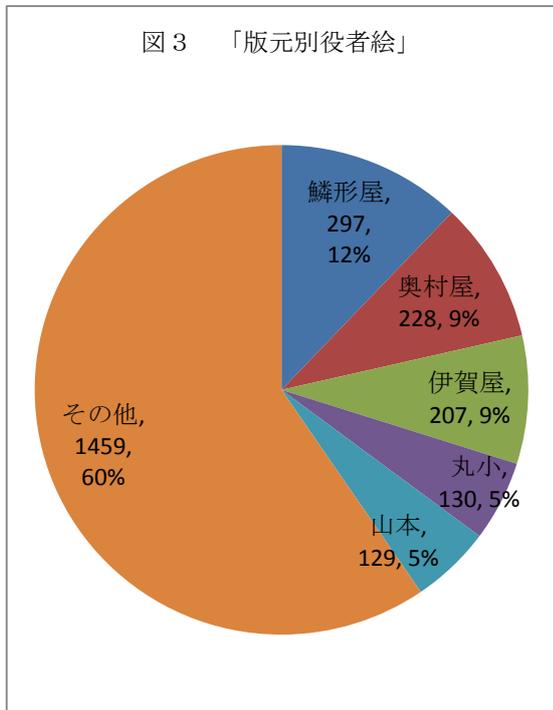
(2) 座元別役者絵

錦絵以前の役者絵2450図を江戸四座（控櫓を含む）を座元別に分類してみると、第一位 市村座、第二位 中村座、第三位 森田座、第四位 山村座であった。絵嶋生嶋事件により断絶になる山村座の役者絵が少ないのは当然であるが、他の三座のうちでは市村座が多く、森田座が極端に少ない。興業を宣伝する役者絵だけでなく、スポンサー付きの役者絵もあったことが想像される。市村座の興業と役者絵出版の更なる研究が必要である。図2は「座元別役者絵」を可視化した円グラフである。



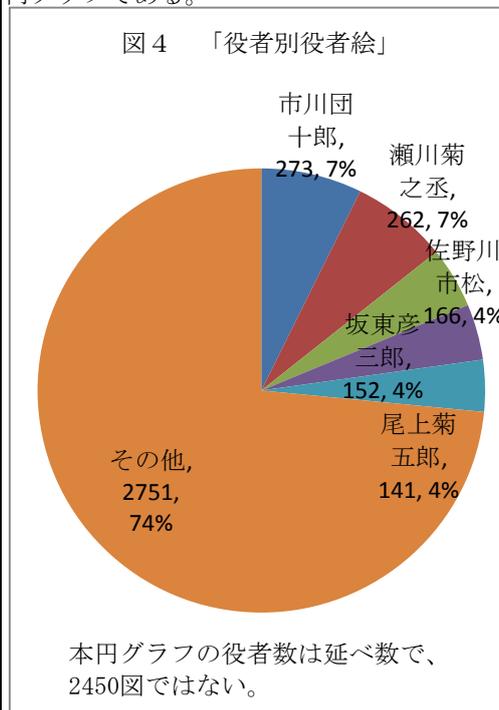
(3) 版元別役者絵

錦絵以前の役者絵2450図を版元別に分類してみると、第一位 鱗形屋、第二位 奥村屋、第三位 伊賀屋、第四位 丸小、第五位 山本となる。これらの版元が役者絵を率先して制作している。今後は座元やスポンサーとの更なる研究が必要である。図3は「版元別役者絵」を可視化した円グラフである。



(4) 役者別役者絵

錦絵以前の役者絵2450図を役者別に分類してみると、第一位 市川団十郎、第二位 瀬川菊之丞、第三位 佐野川市松、第四位 坂東彦三郎、第五位 尾上菊五郎となる。市川団十郎の役者絵が多い。それらを詳細にみていくと、団十郎や一門役者の類型的表現や類型的趣向を見てとることができる。図4は「役者別役者絵」を可視化した円グラフである。



## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計2件)

①武藤純子、市川家の子役一市川九藏と  
升五郎一、西鶴と浮世草子研究、査読  
無、5巻、2011、p. 79-p. 83、

②武藤純子、寛政芝居小屋事情・寛政の女方・  
寛政の名物役者、別冊太陽、査読無、183巻、  
2011、p. 28・p. 42・p. 62、

[図書] (計2件)

①武藤純子分担執筆、ミネアポリス美術館編、  
ミネアポリス美術館浮世絵名品集成、藝華書  
院、2011年、p. 367

②武藤純子分担執筆、Minneapolis Institute  
of Arts、Worldly Pleasures, Earthly  
Delights Japanese Prints from the  
Minneapolis Institute of Arts、Tien Wah  
Press, Singapore、

[その他]

ホームページ等

初期浮世絵データベース

<http://drmutojun.art.coocan.jp/index.php>

国立国会図書館・関西館の電子図書ネットワーク

<http://dnavi.da.ndl.go.jp/>

## 6. 研究組織

(1) 研究代表者

武藤 純子 (MUTO JUNKO)

清泉女子大学・文学部・講師

研究者番号 5 0 4 2 4 3 0

次ページに構築したデータベースのERD  
(エンティティ・リレーショナル・  
ダイアグラム)を示す。

